「遠回り」の大学進学 今では大きな実り

中スポ Jリーグ 早生まれ東京五輪世代

裏方の支え

スポーツ界で脚光を浴びるのはとりわけアスリートだ。しかしそのアスリートが活躍する背景には、さまざまな人からの手厚い支援がある。その支援者は人の目につかないところで、他人のために支える苦労や努力をする、縁の下の力持ちなのだ。

昨年度、中大サッカー部を裏で支えていたのは計10名のスタッフ。役職はそれぞれマネージャー、広報、学連と分かれ、各部署での任務を果たす。マネージャーは選手に付き添い、練習道具や飲料水の準備、スコアノートの記入など実にさまざまな仕事をこなす。広報はチームをより多くの人に知ってもらうため、練習に励む選手の写真を撮る。たとえ雨が降っていたとしてもこの業務は怠らない。そして学連は大学サッカー連盟と中大サッカー部の間をつなぐ役目を果たしており、リーグ戦の運営を行う。

普段はあまり語られない裏方の仕事の魅力は、誰よりも近くで目標に向かって頑張る選手を支え、見守り続けられること。単なる選手のサポートだけではなく、一歩引いた立場から客観的にチームの課題や問題点を見つけ、それを選手や監督と共有することでチーム力を高めていく。スタッフの支えなしでは成り立たないのが学生スポーツなのだ。

今年度、1部で戦うことが決まっている中大。選手たちに最高のパフォーマンスをしてもらえるよう、マネージャー、広報、学連が一丸となってサポートしていく。

J.LEAGUE

サッカー界の未来を担う存在へ―。5名のJリーグ入団内定者が、記者会見を行った。大橋祐紀（商）は湘南ベルマーレ、渡辺剛（経）はFC東京、上島拓巳（法）は柏レイソル、安在達弥（商）は東京ヴェルディ1969、内藤健太（法）はFC琉球への進路決定を発表した。

中大スポーツ CHUDAI SPORTS
4月2日 火曜日
平成31年（2019）
〈第153号〉
中央大学体育連盟機関紙
発行人 高橋 春菜
編集人 大戸琳太郎
八王子市東中野742－1
電話 042(674)2802

記者会見後、ガッツポーズをとり写真撮影に応じる5人〈カメラ・阿部もなみ〉

〈2面〉新入生特集
〈3面〉結果
〈4・5面〉卒業生特集
〈7面〉中スポ新人記者大募集
〈終面〉北村・森下・佐野 甲子園最強トリオ

渡辺デビュー弾

柏レイソル VS FC東京 ルヴァン杯

3月6日のルヴァン杯、FC東京対柏レイソルの試合で、渡辺と上島が同時にデビュー戦を迎えた。渡辺は前半30分、味方のパスに頭で合わせ、プロ初となる先制ゴールを決める。試合は1－2でFC東京が敗れたものの、渡辺は「思い出に残るデビュー戦になった」と振り返った。

1997年2月5日。渡辺と上島は同じ日に生まれた。背格好もお互い185㌢前後、ポジションもセンターバックと、何かと共通点が多い。そんな二人は早生まれのため、ちょうど来年に迫る東京五輪世代に当たる。Jリーグ内定者記者会見では「東京五輪に出場するという目標があるぎない目標があると語った上島。続けて「上島と2センターを組んで東京五輪に出場したい」と語った渡辺。運命の二人が世界のピッチを駆け抜ける姿が待ち遠しい。

憧れの舞台へ

中村憲剛氏（平15卒・現川崎フロンターレ）や、永木亮太氏（平22卒・現鹿島アントラーズ）などプロの第一線で活躍する選手を輩出してきた中大サッカー部。今年も注目の選手たちがJリーグ入団内定を果たした。昨年12月に中大多摩キャンパスで行われた記者会見では、各チームのユニフォームに身を包んだ5名の姿があった。「5名」という数は、昨年度1部リーグ優勝を果たした早大の関東2Jリーグ内定者4名を超し、昨年度の関東2部リーグでは最多。この数字は中大の強さを物語っている。現に、この5人は主力として2部リーグ優勝に貢献し、チームを17年ぶりの1部リーグ昇格へと導いた実績を持つ。

中大での活躍

彼らは在学時に大学サッカー界に名をはせてきたスーパースターたちだ。中大のエースストライカーとしてチームを勝利へと導いてきた大橋は、昨年度のリーグ戦で驚異の通算21得点を挙げた。得点ランキングでは1部を含めて堂々の1位に輝いた。渡辺、上島の二大巨頭はその屈強な身体で相手を圧倒し、攻撃の起点となるプレーで客席を沸かせた。安在はサイドバックながらコートを縦横無尽（じゅうおうむじん）に駆け巡り、何度もチームの危機を救ってきた。学生最後の試合では公式戦初ゴールを決め、有終の美を飾る。そしてリーグ戦の出場経験がないものの、実力が認められて「FC琉球から声がかかった平成最後のラッキーボーイ内藤。在学時には果たせなかった試合での活躍をプロの舞台で見せてくれることだろう。

旅立ちと出発

プロへの道のりは順風満帆（じゅんぷうまんぱん）ではなかった。「大学へ進学することは遠回りだと思っていた」と上島は明かす。しかし今では「高校生の自分にも大学に行ったほうがいいよと胸を張って言える」ほど大きな実りと捉えている。さらに他の選手たちも「大学に来て違うサッカーを知ることができた」（安在）、「人間的成長が得られた」（内藤）など、学生生活を糧にして、次のステージへと進んでいく。4年間選手たちを見守り、共に戦ってきた手塚前監督も、時を同じくして中大を去ることとなった。春は旅立ちの季節でもあり、新たな出発の季節でもある。会見後、「闘いはここから始まっているんだなと感じた」と語る渡辺は、プロとしての自覚も十分だ。人生の門出を迎える5人の戦士たちの活躍に、これからも目が離せない。（生井瑞季）

Jリーグデータベース

歴史

社団法人日本プロサッカーリーグが91年に設立され、93年にリーグ戦が開幕した。10クラブでスタートし、12年からJ1が18、J2が22クラブとなった。

クラブ名

Jリーグでは方針としてクラブ名を「地域名称＋愛称」とし、発足当時から企業名は原則排除している。

試合

2回戦総当たりのリーグ戦方式で行う。基本的に毎週土日の日中に開催されるが、テレビ中継に配慮し、夕方に行われることもある。

◆昨年度各チーム成績◆

FC東京	J1 6位
湘南ベルマーレ	J1 13位
柏レイソル	J1 17位（J2降格）
東京ヴェルディ	J2 6位
FC琉球	J3 1位（J2昇格）

◆5人のプロフィール◆

なまえ	おおはし・ゆうき	わたなべ・つよし	かみじま・たくみ	あんざい・たつや	ないとう・けんた
身長・体重	180㌢・73㌔	184㌢・76㌔	185㌢・80㌔	172㌢・69㌔	177㌢・72㌔
出身地	千葉県	埼玉県	千葉県	東京都	埼玉県
出身校	八千代	山梨学大附	日体大柏	東京Vユース	国学院久我山
ポジション	FW	DF	DF	DF	DF
生年月日	96・7・27	97・2・5	97・2・5	96・5・9	96・5・15

Center Position

「今日のゲームを最後に、現役生活に終止符を打ち、引退することとなりました」。この言葉を聞くまで、彼が引退するはずなど無いと信じていたファンの方たちも多いはず▼2019年3月21日。アスレチックスとの開幕カード2試合目を終えたイチローが記者会見を開き、28年間のプロ野球生活から引退することを発表した。現役最後の試合で交代を告げられた45歳のレジェンドは、5万人に迫る観客の大歓声を背にベンチへ向かった。ベンチの仲間から温かく迎えられ、延長12回の終了後も残っていた多くのファンから声援を受けた。野球選手として最高の最後を迎えたことは間違いないだろう▼ここで忘れてはならないことは、イチローという伝説が終わりを迎えるとともに、菊池雄星という新たなメジャーリーガーがデビューを果たしたということだ。始まりがあれば終わりがあり、終わりがあれば新たな始まりがある。イチローの引退試合は、この2つの関係性を改めて実感させられる展開だった▼大学に入ってから4年後、どんな自分になっているか。春から中央大学に入学した皆さんには、ぜひ4年後の「終わり」を意識しながら、サークルや部活、履修、アルバイトといったあらゆるスタートを切ってもらいたい。ちなみに私はすでに手遅れなので、後輩の皆さんに託すのみである。（杉本）

レイアウト 杉本侑弥

Worldpegasus
飛翔
プロダクトマイスター 西島暉博
グラブアドバイザー 桑田真澄
SPECIAL ORDER 4月発売 軟式用 桑田真澄モデル
GRAND PEGASUS 軟式用 グランドペガサス
GRAND DEVIL 7月発売 軟式用 グランドデビル
スマホでかんたんオーダーグラブシミュレーション！ world-pegasus.com 〈問合せ先〉ワールドペガサスジャパン株式会社 TEL:03-5981-5230

運転免許
中大生利用率
No.2
飛鳥ドライビングカレッジ Driving College 日野
東京都日野市旭が丘1-1-2 TEL：042-581-2721
http://www.aska-dnet.com/hino/
運転免許取得のお申し込みは中央大学生協 教育事業部まで

定期購読のお申込みは042(674)2802